

SONY®

ワイヤレスステレオヘッドセット

使用上のご注意／主な仕様



WI-C300

©2018 Sony Corporation
Printed in Vietnam
4-730-322-03(1)



* 4 7 3 0 3 2 2 0 3 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。

取扱説明書(別紙)



接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

使用上のご注意／主な仕様(本書)



使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)



本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。

パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

ヘルプガイドURL:

<http://rd1.sony.net/help/mdr/wic300/ja/>

ヘルプガイド二次元コード:



! 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 1 電源を切る
- 2 ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

△危険



下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない

充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない



分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない



△警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけがや大けがの原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- ・自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機および携帯電話は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- ・運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



△注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るために、音量を上げすぎないようにご注意ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。



通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



かゆみなど違和感があったら使わない

本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



本機をズボンなどの後のポケットに入れて座らない

変形や故障の原因となることがあります。



イヤーピースはしっかり取り付ける

イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤーピースはしっかり取り付けてください。



本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ベースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

△危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけがやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

△警告 充電式電池について

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。

- 火の中に入れない。分解・加熱しない。

- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

- 一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない。火災や破裂の原因となることがあります。

- 電池が漏液したり、異臭がする時には直ちに火気より遠ざけてください。

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。)

Li-ion

BLUETOOTH®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。

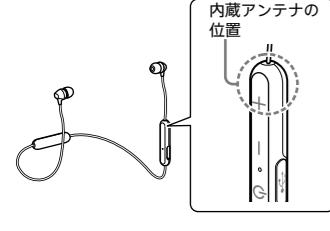
CEマークは主にEEA (European Economic Area)各国など、法律に定められた国においてのみ有効です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、iPad、iPhone、iPod touch、およびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- AndroidおよびGoogle Inc.の商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCa®はソニー株式会社の登録商標です。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - 本機とBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、本機のアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くと改善されます。
 - 本機とBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続するBluetooth機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、Bluetooth通信の感度は向上します。
- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
 - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本機側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。



本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。

- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内の優先席付近／ガソリン

スタンドなど引火性ガスの発生する場所

自動ドアや火災報知機の近く

無線技術の特性により送信側での音声・音楽

再生に比べて本機側での再生が遅れるため、

動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。

本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信

時のセキュリティとして、Bluetooth標準

規格に準拠したセキュリティ機能に対応し

ていますが、設定内容などによってセキュリ

ティーが充分でない場合があります。

Bluetooth通信を行う際はご注意ください。

Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth

接続を保証するものではありません。

- 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG,

Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し

認証を取得している必要があります。

- 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に

適合していても、機器の特性や仕様によ

っては、接続できない、操作方法や表示・動作

が異なるなどの現象が発生する場合があ

ります。

- ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境

により、雑音が入ることがあります。

- 接続する機器によっては、通信ができるよう

になるまで時間がかかることがあります。

音楽再生中に音が途切れやすい場合

• 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更や、ワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することにより改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の動作がおかしいときは

• 本機をリセットしてください。

リセットの場合は充電してください。充電を開始すると本機は自動的にリセットされます。機器登録情報その他の設定は保持されます。

スマートフォンやパソコンの通話用アプ

リの使用について

• 本機は通常の電話着信にのみ対応しています。

スマートフォンやパソコンの通話用アプ

リには対応していません。

充電について

• 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行うには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプター(推奨: AC-UD20(別売))が必要です。

充電中は電源が入らず、Bluetooth機能は使

用できなくなります。

長い間使わなかったときは、充電式電池の持

続時間が短くなることがあります。何回か充

放電を繰り返すと、充電ができるようにな

ります。

本機を長期間お使いにならなかった後に充電

を行った場合、ランプ(赤)がすぐに点灯しない

場合があります。ランプ(赤)が点灯するまで

しばらくお待ちください。

長期にわたって保存する場合は、過放電防止

のため、半年に1回程度の充電を行ってください。

電池の持続時間が極端に短くなった場合は、

充電式電池の交換時期です。交換については、

ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

充電後は、必ずマイクロUSB端子のフタを確

実にしめてください。

装着に関するご注意

• 使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。

• 本機は密閉度を高めていますので、強く押

された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜な

どを痛める危険があります。また、本機を耳に

押し付けると、振動板から音が生じる場合が

あります。故障ではありません。

• リセットをしても症状が改善されないとときは、本機を初期化してください。

マイクロUSBケーブルを本機から抜き電源を

切ってから、△ボタンと-ボタンを同時に7秒

以上押し続けます。

ランプ(青)が4回点滅し、工場出荷時の設定に

戻ります。すべての機器登録情報が削除され

ます。

• 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソ

コンに接続できなくなる場合がありますので、

iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん

削除して機器登録をしなおしてください。

• 本機と初期化した場合には、iPhoneやパソ

コンに接続できなくなる場合がありますので、